

# 市民サービスの向上に役立ちます

市では、インターネットを利用してアンケート調査に回答してもらおう「インターネット市政モニター制度」を実施しています。アンケートへの回答でもらえるポイントも一定以上ためると、記念品と交換できる特典があります。皆さんもモニターとして、市政に参加しませんか。

## インターネット 市政モニター制度とは

市が抱える課題などについて、インターネット(パソコン・スマートフォンなど)を利用して、市民の皆さんの考えや意見を聴く事前登録制のアンケートシステムです。

市では、このアンケートで得られた貴重な意見を活用し、市民サービスの向上に取り組んでいます。10月末日時点の登録者数は1,510人。より多くの意見を市政に反映させるため、幅広い世代の皆さんの登録をお願いします。

## モニター登録は ホームページから

市政モニターのホームページ  
(<https://nari-moni.city.nari.ta.chiba.jp/wi-m608/pc/index.do>)にある「新規モニター登録」から、下図の手順で登録してください。



## Eメールで アンケートを配信

市政モニターに登録した人へ、Eメールでアンケートを年8回程度配信します。

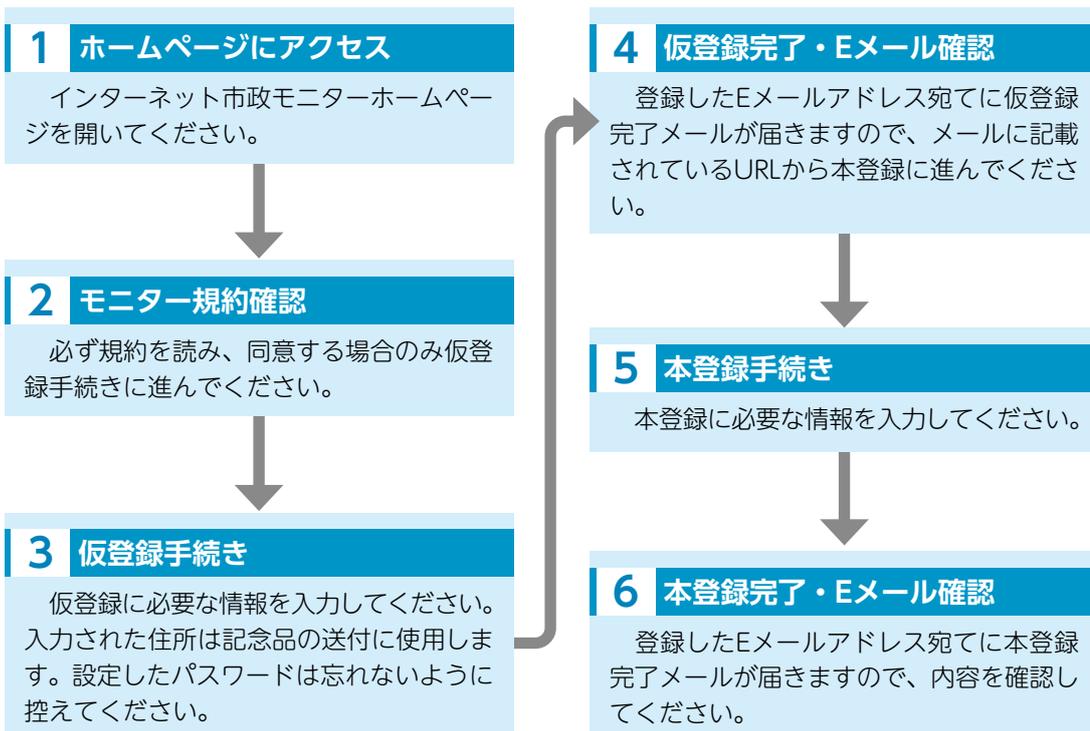
アンケート結果は集計後、ホームページ(<https://www.city.yanaita.chiba.jp/shisei/page103700.html>)に掲載します。

これまで実施した主なアンケート調査と回答率、活用状況は3ページの通りです。

モニター登録は、市内在住・在勤・在学の16歳以上の人であればどなたでもできます。ただし、1人1回の登録に限ります。同一のEメールアドレスで複数人の登録はできません。また、登録は無料ですが、通信料がかかります。

※くわしくは市民協働課(☎20・1507)へ。

## モニター登録の流れ



## 「インターネット市政モニター」アンケート結果の活用状況

調査名(担当課・回答率)	目的	活用状況
成田市観光振興基本計画の策定に係るアンケート (観光プロモーション課・72.2%)	「第2次成田市観光基本戦略」を策定するにあたり、本市の観光実態と課題を把握する。	「第2次成田市観光基本戦略」を策定するにあたり、基礎資料として活用します。
公民館ニーズに関するアンケート (公民館・71.5%)	市民のための施設として、公民館を効率的に利用していくために、公民館に対する認知度や期待などを調査する。	公民館の施設環境の整備や主催講座の内容などを決める際に活用しました。また、今後の公民館の運営の参考資料として活用します。
子どもの読書活動に関するアンケート (図書館・76.8%)	「第2次成田市子どもの読書活動推進計画」を策定するにあたり、検討の資料とする。	「第2次成田市子どもの読書活動推進計画」を策定するにあたり、令和4年7月に実施した「子どもの読書活動に関するアンケート調査」の基礎資料として使用しました。本アンケートの結果と分析を図書館ホームページに公開しています。
文化芸術に関するアンケート (文化国際課・64.4%)	「成田市文化芸術推進基本計画」の施策の進捗と達成状況を確認し、評価と課題の整理に役立てる。	「成田市文化芸術推進基本計画」を総合的かつ効果的に推進するため、各年度における施策の進捗と達成状況を確認し、評価と課題の整理に活用しています。
スポーツツーリズムについてのアンケート (スポーツ振興課・70.9%)	東京オリンピック・パラリンピックが終了し、市民のスポーツツーリズムに関する意識がどのように変化したか、また、スポーツツーリズムに関してどのように考えているかを把握し、今後のスポーツ施策の参考とする。	東京オリンピック・パラリンピックの前後における市民の意識変化について、コロナ禍後におけるスポーツツーリズムの推進に向けて活用しています。
マイナンバーカード(個人番号カード)に関するアンケート (市民課・71.5%)	マイナンバーカード普及促進のための取り組みの参考とする。	マイナンバーカードを取得しない理由や、どのようなサービスがあればマイナンバーカードを取得しようと思うかを調査し、普及促進の取り組みの参考にしました。
「広報なりた」に関するアンケート (広報課・73.8%)	広報紙の内容や行政情報の入手手段などについて、ニーズや状況の変化を把握し、紙面作成や情報発信に役立てる。	SNSや電子媒体の活用が年々増えているなど、行政情報を入手する手段の変化を把握するとともに、情報発信の手法を検討する際の参考としています。
成田市公設地方卸売市場についてのアンケート (卸売市場・76.3%)	卸売市場における青果物・水産物の購入状況やイベントの認知度を把握することで、今後の卸売市場の活性化に向けた取り組みに役立てる。	アンケートの分析結果を踏まえ、魅力的なイベントの企画や効果的な周知、販売方法や接客の対応など、卸売市場がより親しまれる市場となるよう検討するための情報として活用しています。